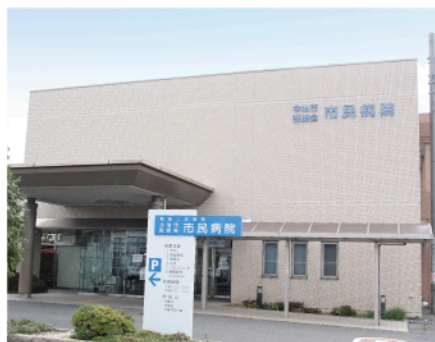


今治市医師会



▲今治市医師会市民病院



▲県立今治病院



▲済生会今治病院

市内3病院で入院患者対応

今治市医師会(別宮町7)では、新型コロナウイルスの感染拡大に向け、軽症者から重症者まで段階に応じた対応やクラスターになった時など、あらゆる場面を想定しています。そこで、

「市民も対策に協力を」

会長

新型コロナウイルスの症状が疑

わしい場合、かかりつけ医もしくは地域の医療機関を受診し、医師が検査を必要とした場合のみ、鼻からのPCR検査を3病院で受けられます。

記者

最後に市民が注意すべきことがあれば教えてください。

下さい。

会長

感染者が出て、皆さんの命は医師会で守りますので、細めな手洗い、マスクを習慣化してください。定期的な換気、十分な栄養と睡眠をとりましょう。

外出する際も、県外をまたぐ移動などは十分に

注意し、3密を回避するなど基本的な感染防止対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス対策には、二人ひとりのご協力が必要です。自分だけは大丈夫という気の緩みが一番、危険です。皆がルールを守り、自分の命も、まわりの命も守りましょう。何卒、よろしくお願ひします。

感染リスクが高まる「5つの場面」には気をつけよう!

場面① 飲酒を伴う懇親会など

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。